北野小学校　校長室だより
第　６　号
令和７年１月１０日（金）
北野小学校長　本郷　一毅

北野の風に乗せて '24

新しい年の始まり～充実した１年に～

令和７年の学校が始まりました。心配されていたインフルエンザは、感染した子が少なく、全校で集まって始業式を行うことができました。

始業式では、子供たちに次のようなことを話しました。

北野っ子のみなさん、あけましておめでとうございます。そして、おかえりなさい。今日から令和７年の学校が始まります。市内では、インフルエンザがとてもはやっているので、みんなで国歌や校歌を歌うことはやめましたが、全校のみなさんが集まって、新しい年を迎えられることを、とてもうれしく思っています。今年も、楽しく毎日を過ごしていきましょう。（中略）

さあ、３学期の始まりです。３学期に頑張ってほしいこと。いつもの３つです。もうみんな分かりますよね。「挨拶・挑戦・思いやり」です。挑戦と思いやりは、とても頑張っていると思うので、３学期は、とくに、気持ちのよい挨拶ができるようにがんばってほしいです。

学校の中では、挨拶ができる子が多くなってきていますが、学校の外では、ちょっと寂しい感じがします。残念なことに、地域の人からも、挨拶をしても返事が返ってこなくて寂しいという話を聞くことがあります。

北野っ子のいいところはたくさんあります。例えば、とても明るくて素直、元気な子がたくさんいます。思いやりがあって、優しい。授業や行事、部活動には一生懸命に取り組みます。とてもいい子ばかりです。

そんな素敵な北野っ子たちなのに、あいさつをしないだけで、それが伝わらないのはもったいないです。旗当番のお父さん、お母さんたちは、仕事がある人もいるのに、朝早くから交差点に立って、みんなの安全を守ってくれています。「おはよう」と笑顔で声をかけてくれる人もいます。それなのに、返事もしないで通り過ぎていく子がいると、悲しくなると思います。どこか調子が悪いのかと心配にもなります。もしも、そんな子ばかりだと、お父さん、お母さんも仕事に行く元気もなくなってしまいそうです。

でも、みんなの方から進んで、「おはようございます」って言ってくれると、逆に元気をもらえます。「ありがとうございます」なんて言わなくても、「おはよう」の挨拶だけで、ありがとうの気持ちも伝わります。そして、みんなのよさも伝わっていきます。

気持ちのよい挨拶ができると、自然と笑顔が増えていきます。朝だけでなく、帰りも同じです。みんなの元気な挨拶は、みんなや周りの人たちの笑顔にもつながっていくのです。気持ちのよい挨拶が、たくさんできる北野っ子になって、もっと楽しい学校、もっと楽しい地域にしていきたいです。３学期、気持ちのよい挨拶をがんばりましょう。

３学期は、次の学年、ひとつお兄さんお姉さんになる準備をするための学期でもあります。１～５年生の子たちは、自信をもって１つ上の学年になれるように、６年生は立派に卒業して、中学生になれるように、しっかりがんばっていきましょう。

素敵な３学期、素敵な令和７年になりますように。

感染症等の流行による学級閉鎖の判断について

学校では、インフルエンザ等の感染症が学級内で流行した場合、それ以上の感染拡大を防ぐために、学級閉鎖の措置を取ることがあります。今年度（昨年の 12 月）も、複数の学級で学級閉鎖をしました。

閉鎖の判断につきまして、一概に欠席者数で決まるものではありません。広がり方や、感染の経路などを考え、学級内での感染が拡大する可能性がある場合に、学校医と教育委員会と相談の上、決定します。

学級で欠席者が増加傾向にある場合は、学校情報メール等で、翌日以降の早帰りや学級閉鎖の可能性があることをお知らせするようにしています。しかし、急激な感染拡大が見られる場合は、事前の予告なしに学級閉鎖にする場合があります。

今年度のインフルエンザは、感染力が強く、急に広がりやすいとも聞いています。学級閉鎖等の対応について、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

１月７日　始業式を行いました

１月８日　校内書き初め会を行いました